

## 平成22年度全国学力・学習状況調査の抽出調査における徳島県の結果について

### ■調査の概要

○実施日時 平成22年4月20日（火）

○調査内容

- ・小学校第6学年，中学校第3学年の児童生徒を対象。
- ・教科に関する調査は，国語，算数・数学において，「主として『知識』に関する問題」（身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や，実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など）と，「主として『活用』に関する問題」（知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や，様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容など）を調査。

また，生活習慣・学習環境等に関する質問紙調査を実施。

○抽出調査の実施状況（公立学校のみ）※特別支援学校を含む。

- ・実施学校数 151校（小学校90校，中学校61校）
- ・実施児童生徒数 約7,900人（小学校6年 約3,200人，中学校3年 約4,700人）

### ■教科に関する抽出調査結果（公立学校のみ）

小学校国語・算数，中学校国語・数学の「知識」と「活用」における平均正答数及び平均正答率は，次のとおりであった。

校種	小学校（6年）				中学校（3年）				
	国語		算数		国語		数学		
	A	B	A	B	A	B	A	B	
問題数	15	10	19	12	35	10	36	14	
平均正答数（問）	県	12.6	7.8	14.3	6.0	26.3	6.4	24.4	6.2
	全国	12.5	7.8	14.1	5.9	26.3	6.5	23.3	6.1
平均正答率の 95%信頼区間（%）	県	83.5～	76.6～	74.8～	48.9～	74.4～	63.1～	66.7～	42.7～
		84.8	78.5	76.3	50.6	75.8	65.0	68.7	45.3
	全国	83.2～	77.7～	74.0～	49.1～	75.0～	65.1～	64.4～	43.1～
		83.5	78.0	74.4	49.5	75.2	65.5	64.8	43.5

A：主として『知識』に関する問題 B：主として『活用』に関する問題

○「知識」に関する問題

- ・各学年・各教科とも全国平均以上の正答数であり，基礎基本の定着がみられる。

○「活用」に関する問題

- ・小学校国語及び小学校・中学校の算数・数学の平均正答数が全国平均以上となっているが，中学校国語の平均正答数が全国平均を下回っている。
- ・中学校国語をはじめ，各学年・教科において，自分の考えを書いたり，理由を説明したりすることに課題がみられる。

○課題解決のために

- ・図表・グラフなどから必要な情報を読み取りそれらを根拠にして自分の考えを論述したり，課題解決のための構想を立て実践し評価・改善したりする学習活動を行い，思考力・判断力・表現力の育成を図る必要がある。

### ■今後の対応

調査結果に基づき，徳島県学力向上推進事業の取組の改善とより一層の推進を図る。

○徳島県学校改善支援プランに基づく学力の向上及び学習状況の改善を一層推進する。

- ・徳島県学力ステップアップテストを実施し，教育活動や学習指導のより一層の改善・充実を促進する。
- ・調査結果集計分析ソフトの活用を促進し，各学校における学力の向上に向けた取組の改善を進める。

○研修会や計画訪問などあらゆる機会を通じて，各学校における課題解決に向けた指導法の工夫改善を一層促進する。

○研究指定校による実践研究の成果の普及を図る。

○「読書の生活化プロジェクトⅡ」を一層推進し，言語に関する関心を高める。

○「阿波っすだち（巣立ち）宣言」プロジェクトをさらに進め，児童・生徒が自主的・主体的に取り組む活動を支援する。